

## 目 次

はじめに	P.	2
組織概要	P.	2
水の循環	P.	3
事業概要	P.	3
川崎市の環境施策	P.	5
上下水道局環境計画の基本的事項	P.	6
環境方針及び施策体系	P.	7
具体的な取組状況	P.	9
上下水道局における電力需給対策	P.	26
事業活動における物質フロー	P.	27
汚水処理費用と効果	P.	29
ガイドライン指標	P.	29
環境会計	P.	30

## 編 集 方 針

上下水道局では、平成14年度から水道事業を対象とし、事業活動における環境負荷状況や環境保全のためのコストとその活動により得られる効果を認識し、可能な限り定量的に測定した結果を市民、企業の皆様へお知らせするため、環境会計を導入しました。

平成15年度決算版からは環境会計に加え、事業活動における水環境の保全、省エネルギー、リサイクル等の環境保全への取組状況をより詳細にお知らせするため、総合的な環境施策を示す環境報告書を作成し、平成16年度決算版からは、対象事業に工業用水道事業を加えました。

下水道事業では、平成16年度決算版から環境会計を導入し、下水道の環境レポートを作成しました。

### 《1. 対象期間》

■平成24年4月1日～平成25年3月31日

### 《2. 対象事業》

■水道事業、工業用水道事業及び下水道事業

平成22年4月に下水道部門と水道部門を統合し、上下水道局を設置したことに伴い、平成21年度決算版からは3事業を対象とした環境報告書に改めました。

これらの取組を背景とし、上下水道局では局における環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成23年度に「上下水道局環境計画」を策定、公表しました。

環境計画年次報告書は、環境計画に対する年次報告として、平成24年度決算に基づき取りまとめ、水の供給から排出された汚水の処理までの水循環を一体ととらえ、市民、企業の皆様に事業活動における環境負荷の状況や環境保全等の取組状況、上下水道局環境計画の進捗状況を分かりやすくお知らせすることを目的としています。

### 《3. 参考資料》

この報告書は、環境省が公表した環境報告ガイドライン及び環境会計ガイドラインを参考にしています。

【注】金額は、原則として消費税抜きで作成しています。

# はじめに

川崎市では、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するため、平成22年度に「地球温暖化対策推進基本計画」（平成23～32年度）、同実施計画（平成23～25年度）を策定し、市全体で取り組んでいます。

また、上下水道局では、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業を所管していますが、これら3つの事業は、貴重な水資源を安全・安心な水道水として供給し、排出される汚水を収集・処理し、放流するという水循環の過程において、電力などの資源・エネルギーを消費するとともに、浄水発生土や下水汚泥焼却灰などの廃棄物を排出していることにより、事業活動において地球環境に与える影響は少なくありません。

これらのことを踏まえて、上下水道局では、局における環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成23年度に「上下水道局環境計画」を策定し、環境報告書については、平成23年度決算版から「環境計画年次報告書」へと改め、計画の進捗状況や環境会計等について報告をしています。

現在、上下水道局では、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故を教訓に、今後の大規模地震災害等を想定し、緊急・突発時における迅速かつ適切な対応ができるよう安全・安心第一を念頭に事業運営を進めています。また、電力需給バランスの確保に寄与するとともに、地球温暖化対策への貢献や、電気料金の高騰による事業への影響を最小限にするため、節電に向けた取組を継続実施しています。

今後も全職員一丸となり、上下水道事業の重要な使命である「安全で良質な水の安定供給」、「安定した汚水処理による良好な放流水質の確保と公共用水域の水質保全」に努めるとともに、局における環境施策においても、持続可能な社会の構築を目指し、よりよい環境を将来の世代に引き継ぐため、地球環境問題への取組を積極的に進めていきます。

## 組織概要

(平成25年4月1日現在)

